

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成22年5月13日 (2010.5.13)

【公開番号】特開2008-266432(P2008-266432A)

【公開日】平成20年11月6日 (2008.11.6)

【年通号数】公開・登録公報2008-044

【出願番号】特願2007-110087(P2007-110087)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 K 5/29 (2006.01)

C 0 8 K 5/1515 (2006.01)

C 0 8 L 101/16 (2006.01)

【F I】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 K 5/29

C 0 8 K 5/1515

C 0 8 L 101/16

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月29日 (2010.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

(A) ポリ乳酸樹脂ならびに芳香族ポリカーボネート樹脂、スチレン系共重合体、芳香族ポリエステル樹脂、ポリアセタール樹脂、ポリアミド樹脂、ポリフェニレンエーテル樹脂、ポリフェニレンスルフィド樹脂、ポリメタクリル酸メチル樹脂およびセルロースエステル樹脂から選ばれる少なくとも一種の熱可塑性樹脂との混合物 100 重量部に対し、(B - 1) エポキシ化合物 0.01 ~ 0.75 重量部と、(B - 2) カルボジイミド化合物 0.01 ~ 0.75 重量部を配合してなる樹脂組成物であり、かつ (B - 1) と (B - 2) の配合比率が、(B - 1) と (B - 2) の合計に対して、(B - 1) 20 ~ 80 重量%、(B - 2) 80 ~ 20 重量%である樹脂組成物。

【請求項 2】

さらに (D) 難燃剤を配合してなる請求項 1 に記載の樹脂組成物。

【請求項 3】

さらに (C) 充填剤を配合してなる請求項 1 または 2 に記載の樹脂組成物。

【請求項 4】

さらに (E) フッ素系樹脂を配合してなる請求項 1 ~ 3 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項に記載の樹脂組成物からなる成形品。

【請求項 6】

前記成形品が、自動車部品または電気・電子機器の筐体もしくは部品である請求項 5 に記載の成形品。